

第1部 地域学部の研究と活動		
1回	4月10日	①オリエンテーション ②講義「くわたくしから地域学へ」:柳原邦光(教授)
2回	4月17日	藤井正(教授) 地域に向き合う大学
3回	4月24日	中原計(准教授) 地域の自然と暮らし
4回	5月8日	木野彩子(講師) 身体から考えてみよう
5回	5月15日	村田周祐(准教授) 生活再編と開発について経験的に語る
6回	5月22日	小林勝年(附属子どもの発達・学習研究センター長) 社会で生きる権利を奪われる人々に着目し、当たり前を問い直す
7回	5月29日	児島明(准教授) 移動する家族と教育
8回	6月5日	柳静我(准教授)+学生 海外実践プログラム、「現地感覚」「大きな地域を感じとること」
第2部 地域で生きるということ		
二重下線:一般公開授業 6月19日から7月24日までの5回の講義については、昼休みに昼食をとりながら外部講師との交流会を開催します。 各自昼食を持参して、12時20分までに地域学部棟1階大会議室に集まってください。		
9回	6月19日	宮定章(まち・コミュニケーション)+稲津(准教授) 災害後の地域づくり
10回	6月26日	三橋弘宗(兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)+大元(准教授) どうしたら自然を守れると思いますか?
11回	7月3日	白岩高子(アトリエコーナス主宰)+川井田(教授) 地域であたりまえに暮らす—アートが変える障害観—
12回	7月10日	芥川仁(写真家)+家中(教授) リトルヘヴンを撮る(仮)
13回	7月17日	中貝宗治(豊岡市長)+竹内(准教授) 豊岡の挑戦—Local&Global—
14回	7月24日	地域政策学科卒業生および地域教育学科卒業生 地域学部での学びと現在の仕事

【レポート:25点、提出日:7月24日】

「地域学部が何を目指しているのか、何を重視しているのか」について、講義を通じてあなたが感じたこと、考えたことを述べてください。さらに今後、どのような学びをしていきたいかについて述べてください。

・体裁:A4版横書1枚の片面印刷、40字×43行、最初の3行に「タイトル」「コース・学生番号」「氏名」を記載。最後に参考文献やURL。

15回	7月31日	まとめ
-----	-------	-----

◎コーディネーター/チーフ:鈴木慎一郎(人間形成)、サブ:中原計(国際地域文化)

◎コース担当教員/大元鈴子(地域創造)、住川英明(人間形成)、(国際地域文化)

◎TA/()・()

◎時間(90分)配分=5分:準備と講師紹介→60分:講師の講義→20分:小テスト(5点×15回=75点)

◎終了時、出席票を兼ねた小テストを毎回行います。4回以上欠席の場合は未履修扱いとします。遅刻・欠席のないように!